

日蓮と忍性の足跡を 江ノ電沿線にたどり湘南の秋を歩く

(山口大助氏撮影)

鎌倉時代の日本は、天変地異（地震・飢饉）や外国からの侵略（元寇）などの脅威に晒されていました。鎌倉の仏教界の巨星、日蓮と忍性もこのような時代に輝きました。

二人がこれらの社会不安にどのように対峙し民衆を支えたのか。足跡をたどり秋の湘南を歩いてみましょう。

■コース 約6 km（江ノ電乗車区間を含む） 高低差あり： トイレあり（各駅）

鎌倉駅西口 時計台前 →日蓮辻説法跡 →本覚寺

→（ 鎌倉駅～極楽寺駅） →熊野新宮 →極楽寺 →日蓮袈裟懸松の碑

→（ 稲村ヶ崎駅～七里ヶ浜駅） →雨乞橋 →雨乞の池（ここから高低差約40メートルの坂を登ります）

→（ 鎌倉高校前駅～江ノ島駅） →龍口寺 解散

ガイド
レシーバー
（無線）
での案内を
実施！

マイ・イヤホン利用可

■実施日 令和6年11月22日（金） 小雨決行・荒天(警報発令)中止

■集合 鎌倉駅西口 時計台前 午前9時20分（出発 午前9時30分）

■解散 龍口寺 午後1時頃予定（江ノ島駅まで徒歩5分）

■募集人員 50名（どなたでも参加できます）

■参加費 1000円（保険料・資料代等） 別途交通費（江ノ電乗車代）が必要です

■申込先 11月1日（金）午前9時～ ふじさわ宿交流館に電話で

■持ち物 飲み物、筆記用具、ゴミ袋、雨具等。歩きやすい靴と服装でご参加ください

■問い合わせ ふじさわ宿交流館へ ☎0466-55-2255

当日のお問い合わせは、午前8時以降にお願いします

《江ノ電と江の島》



《龍口寺》

